

こっこめ通信 07 2023

「今年の梅雨は雨が少ない？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

湿度が高く蒸し暑い夕方、アマツバメが低く飛び交うと白い悪魔『イエシロアリ』のお出ましです。島では毎年梅雨時、イエシロアリ達が一斉に巣から飛び出す群飛が見られます。それは気持ちのいいものではありません。そんな時は電気を消して雨戸を閉め、あかりに寄ってくるイエシロアリをやりすごします。

さて、今回は「私の独断で選んだ雨が似合う花」と「海洋ごみ問題を少しでも考えてみる」のお話です。(M.K.)

私が選ぶ！「雨が似合う花」



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

ちょっとだけ海ごみ問題を考えてみませんか？



横間海水浴場に流れ着いた大量の海ごみ（漂着ゴミ）

八丈島は太平洋に浮かぶ小さな島ですが、海を漂っていた様々な物が風や波、海流によって打ち上げられます。これら漂着物のことを「海ごみ（漂着ゴミ）」と言います。島の海ごみはこんな感じでした。



漁網はあちこちに打ち上がっていた



流れ着いたのか風で飛ばされたのか？



ペットボトルは数え切れないほど

打ち上がっていたのは、漂着種子や貝殻など自然のものもありましたが、それをはるかに上回る量のプラスチック製品がありました。カップラーメンの器、漁具、バケツ、ペットボトル、発泡スチロール、ウレタンマット、ホース、ボロボロに劣化して原型をとどめていないプラスチック製品など、あげたら切りがないくらい。

プラスチックは自然に分解されることがほとんどなく海面や海岸に残り続けます。八丈島は風が強く、ゴミ収集所から飛ばされたり、海岸でお弁当を食べた際に風で飛ばされたりということがあるかもしれません。しかし、島の海岸で見つかるものは汚れていたり、すり減ったりと長い間漂い続けていたことが窺える物が多いです。

漂い続けるうちに生き物が食べ物と間違えて食べてしまうこともあります。プラスチックを間違えて食べてしまうと消化しきれずお腹は膨れているのに、栄養不足になり最終的には死んでしまいます。

右の画像は、クロアシアホウドリのヒナが吐き出した物（ペレットという）の中に入っていたものです。プラスチック由来の物が多いのが気になります。

プラスチックは長い年月をかけ劣化し、とても小さな欠片『マイクロプラスチック』となります。その小さな欠片を小魚が食べ、プラスチックが堆積された小魚を大きな魚や海鳥、海洋生物が食べ、最終的には私たち人間に帰ってきます。外国の研究でヒトの血液からマイクロプラスチックが検出されたというニュースは記憶に新しいですね。

それでは海洋ゴミを減らすために、私たちができることは何でしょう？

まず、この問題に関心を持ち、行動することです。と言っても、大々的に海浜清掃を主催しようとか行政を動かそうとか、そんな大それたことではなく、マイボトルやマイバックを使用する、風に飛ばされないようにゴミを出す、野外のゴミを拾う、清掃活動に参加してみるなど、小さなことからいいのです。

これ以上、プラスチックゴミが海洋環境を汚すことがないように、まずは個人個人でできることから始めてみませんか？このきれいな八丈島を子供達に残すために。（M.K.）



八丈植物公園季節調査会の報告

今月は、毎回参加され季節の移ろいと一緒に感じてくれている方々が参加されなかったのが心細かったのですが、観光の方や移住された方など初々しい方々に参加いただき、一つの植物に時間をかけてお話ししたり、撮影したりといつもと少し違う雰囲気の調査会となりました。今回はシダ植物16種む74種の植物を観察しました。

八丈植物公園季節調査（2023年度第3回：6月11日実施 曇り、気温：14.8℃）調査者：3名、VC木下

1	ヤブニッケイ	葉、蕾、花、ヤブニッケイもち病菌（昨年の枯残、今年を目視で約5cm～10cm）
2	タコノキ	葉、気根の長さ：9cm、太さ：9cm
3	オオタニワタリ	新芽28本（内1枚葉先が折れる）・最少丈117cm、古葉
4	ニオイウツギ	葉、若い実
5	ニオイバンマツリ	紫色の新葉、葉
6	オオシマザクラ	葉、干からびた残実、葉はサクラクワガタハバチによる食害
7	アオツツラフジ	花、蕾
8	アオノクマタケラン	花、残実
9	アガパンサス	蕾
10	アカメガシワ	雄花
11	アメリカスズメノヒエ	花
12	イタピカズラ	実
13	イヌガラシ	花
14	イヌビワ	実
15	イワニガナ	花
16	インドゴムノキ	実
17	ウスベニニガナ	花
18	エノキ	実
19	オオバコ	花・実
20	オオムラサキシキブ	花
21	ガクアジサイ	花、若い実
22	キダチチョウセンアサガオ	花
23	キランソウ	花
24	クッカバラ	花殻
25	クワズイモ	花、蕾、若い実
26	ケキツネノボタン	花
27	コケリンドウ	花、実
28	コナスビ	花
29	コメツブツメクサ	花
30	サクユリ	蕾
31	サルスベリ	新葉
32	ジャカランタ	花、落花
33	セイヨウアジサイ	花
34	ソウシジュ	花、蕾
35	ソテツ	残実
36	テイカカズラ	花
37	テリハノブドウ	花、蕾
38	トキワハゼ	花
39	ドクダミ	花
40	トベラ	若い実
41	ニワゼキショウ	花、実
42	ネジバナ	花
43	ハゼノキ	実
44	ハチジョウキブシ	実
45	八丈千鳥	花
46	ハチジョウネジバナ	実
47	ハナモモ	実
48	ヒナギキョウ	花、実
49	ヒメユズリハ	若い実
50	ヒメヨツバムグラ	実
51	ブーゲンビリア	花
52	ヘラバヒメジオン	花
53	ハウライアオキ	蕾
54	ホルトノキ	蕾
55	ママコノシリヌグイ	花、蕾
56	マリーゴールド	花
57	マルバデイゴ	花
58	三宅常磐	花
59	ムラサキカタバミ	花
60	モッコク	蕾
61	ヤブツバキ	実
62	ヤマアジサイ	花、若い実
63	ヤマモモ	実
64	リュウケツジュ	残実
シダ植物		
1	イシカグマ	
2	ウチワゴケ	
3	オニヤブソテツ	
4	カニクサ	栄養葉
5	タチクラマゴケ	
6	タチシノブ	
7	タマシダ	
8	トラノオシダ	
9	ナチシケシダ	
10	ノキシノブ	孢子囊
11	ハチジョウカナワラビ	
12	ハチジョウシダ	
13	ヒトツバ	
14	ヘラシダ	
15	ホシダ	
16	マメツタ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海ごみの流れ着く海岸で見られる「イソハエトリ」にスポットを当ててみたいと思います。



イソハエトリ

Hakka himeshimensis

ハエトリグモ科イソハエトリ属。北海道、本州、四国、九州、南西諸島の海岸で見られるクモ。八丈島の海岸線の岩場でも普通に見られます。大きさは8mm前後、体色は黒色から濃灰色で腹部後端に白い点があるのが特徴です。タイドプール周辺の波がかかりそうな場所でも見られます。

2023
7ハチビジターセンター
プログラムカレンダー日付の下に書かれている時刻は、ハ丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります						1 ガイドウォーク 02:06 16:42 09:21 21:40
2 ガイドウォーク 02:52 17:31 10:07 22:29	○ 3	4	5	6	小暑 7	8 ガイドウォーク 02:26 16:38 07:55 21:38
9 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 03:26 15:21 09:00 22:11	◐ 10	11	12	13	14	15 ガイドウォーク 02:14 17:11 09:34 22:03
16 ガイドウォーク 03:06 17:43 10:15 22:44	17 ガイドウォーク 03:51 18:12 10:53 23:18	● 18	19	20	21	22 ガイドウォーク ハ丈学講座 「大人クラフト ・ミニ盆栽」 06:59 20:15 01:21 13:35
大暑 23 ガイドウォーク 01:58 14:06 20:40	24	25	◑ 26	27	28 夏休み特別行事 「親子で 夜の昆虫観察会」 07:01 18:52	29 ガイドウォーク 00:13 15:54 08:07 20:29
30 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「植物公園 ナイトウォーク」 01:29 16:44 09:06 21:38	◐ 31					

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
7/9 (13:30～15:00)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名ハ丈学講座
「大人クラフト・ミニ盆栽」自然にある実生苗を漂着した浮き球に植え付けます。
7/22 (13:30～15:00)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名夏休み特別行事
「親子で夜の昆虫観察会」夜の公園内の昆虫を観察します。何がみられるかな？
7/28 (19:30～21:00)
4歳以上の子供と保護者 ビジターセンター集合・解散 50円 定員：15名夏休み特別行事
「植物公園ナイトウォーク」夜の公園を歩き、夜に活動する生きものを探したり、光るキノコ探しや星空観望をします。
7/30 (19:30～20:30)
誰でも(園内を1時間歩ける方) 植物公園メインエントランス集合・解散 50円 定員：15名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、(10:30～11:30) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ ハ丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ ハ丈島

14:00～ おじゃりやれ ハ丈島

15:00～ おじゃりやれ ハ丈島

16:00～ ハ丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都ハ丈ビジターセンター 2023.7.1 第266号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)

〒100-1401

東京都ハ丈島ハ丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

ハ丈島が1年で最も輝いて見える夏は、すぐそこまできています。とは言えこの7月号が発刊される頃は梅雨まっ只中！眩しい季節までもう少し！それまで島の湿気に負けるな！夏よ、早く来い！(M.K.)